

◆佳作◆

非正規雇用から見た社会保障のずれ

人文学部社会科学科 1年

大古祥代

現在、非正規雇用の広がりが問題視されており、その広がりは働き盛りの現役世代にまで及んでいる。私は大学に入学してから受けた講義で、本来人々を包摂すべき社会が逆に機能し、生活に困窮している人々を排除しようとしている事実を知った。非積雇用に関する様々な問題を知っていく中で、社会保障制度でさえ、社会における弱者に対して、逆に機能していることを知り、社会保障制度に注目し、どのような排除が起きているのかを明かしていきたいと考えたのが本論文を書いたきっかけである。

本論文は様々な排除を現行の諸制度では対応しきれない部分を新たに再構築、または諸制度を統括することで第二のセーフティネットを構築する必要性を述べた論文である。